平成28年度放射線等に関する教育研修協議資料

学校名	〈小　１０〉　　いわき市立中央台東小学校

＜実施日＞ 平成　２８　年　６月　２３　日（木）６年生

＜実践教科等＞

１　理科　　２　学級活動　　３　総合的な学習の時間　　４　その他（　　）

＜実践内容：資料を活用した放射線授業＞

○　６年生

放射線から身を守るには

放射線から身を守るため，適切な行動をしようとする。

１　放射性物質を体内に取り込まないようにしていることを発表する。 放射線から身を守るためにできることを考えよう。	○　外出後にほこりを落としたり，手洗いやうがいをすることを確認する。
２　放射線から身を守る方法について話し合う。	○　体の外から受ける場合と中から受ける場合があることを確認する。
(1)体の外から放射線を受けることから身を守る方法につて話し合う。 ・　放射性物質から離れる。 ・　放射線を受ける時間を短くする。 ・　コンクリートなどの建物の中に入る。	○　個人で考えたことをグループで話し合い発表させる。 ○　県パンフレットP13で確認する。
(2)体の中から放射線を受けることから身を守る方法を話し合う。 ・　直接吸い込まない。 ・　食べ物に含まれる「事故による放射性物質」に気をつける。	○　個人で考えたことをグループで話し合い発表させる。 ○　県パンフレットP13で確認する。
３　事故が起こったときの心構えについて話し合う。	○　個人で考えたことをグループで話し合い発表させる。 ○　県パンフレットP14で確認する。
４　意見や感想を話す。	

＜感想＞

資料はよくできていて，知識・理解を高めるのには非常に役に立った。

＜成果＞

○　今までの知識をもとにして，自分で考えたことをグループで討議して発表する形式は考えが深まったり，広がったりしてよかった。

○　話し合ったことから資料を活用することで説得力が増した。

○　体の外と中から被曝することを知り，そこから身を守ることが分かったところから，事故が起こったときにどのような行動をとればよいのかと，獲得した知識を活用する展開にしたことで，生きて働く授業になった。

○　昨年度の外部講師活用の授業が生かされた。

＜課題＞

●　昨年度の外部講師が児童向けの派遣がされなくなったので非常に残念だった。ある程度続けていただくことで，更に効果的に系統立てて指導できたのではないか。しかし，昨年度の内容を踏まえて指導内容を精選することができた。

●　放射線教育の必要性について全職員でもう一度確認する必要がある。資料も整備されているのでその活用も係として校内で周知させていきたい。